

利用方法

「RunAsNET」はアプリケーションを特定の権限で実行するためのショートカットを作成するツールです。クライアント上の操作で、ログオンしているユーザーとは異なる権限でアプリケーションを実行することが出来ます。

Run AsNET ショートカット作成

設定内容

ユーザー名: ※ユーザー名が空欄の場合、[Administrator]として実行します。

パスワード:

ドメイン名: ※ドメイン名が空欄の場合、ローカルアカウントとして実行します。

実行プログラム: (必須) [参照](#)

パラメータ:

作業フォルダ: [実行プログラムのフォルダと同一](#)

ショートカット

スタートメニューに作成 デスクトップに作成 フォルダを指定して作成

ショートカット名: (必須) コメント:

[ヘルプ](#) [テスト実行](#) [作成](#) [閉じる](#)

作成方法

設定内容

ユーザー名

実行するユーザー名を入力します。
空欄の場合、[Administrator]と見なします。

パスワード

実行するユーザーのパスワードを入力します。

ドメイン名

ユーザーがドメインユーザーの場合、そのドメイン名を入力します。
空欄の場合、ローカルアカウントと見なします。

実行プログラム(必須入力)

実行するプログラムをフルパスで入力します。

実行するプログラムには、EXE ファイル以外にバッチファイル(BAT)やインストーラー(MSI)を設定することも可能です。

実行ファイルのパスは、UNC 名を使ったネットワークドライブを設定することも出来ます。

パラメータ

実行プログラムにパラメータを付加することが出来ます。

作業フォルダ

プログラムを実行する際の作業用フォルダを指定します。

基本的に実行するプログラムと同じフォルダを指定します。

「実行プログラムのフォルダと同一」ボタンを押すと、実行プログラム欄に入力されているフォルダを自動入力します。

作成されたショートカットのプロパティで表示される「作業フォルダ」とは別の物です。

ショートカット

ショートカットを作成する場所を下記の中から指定します。

- ・スタートメニューに作成
- ・デスクトップに作成
- ・フォルダを指定して作成

ショートカット名(必須入力)

ショートカットの名前を入力します。

コメント

ショートカットのコメントを入力します。

テスト実行

ショートカットを作成する前に、設定内容で正常に動作するか確認することが出来ます。

「テスト実行」ボタンを押してもプログラムが正常に起動しない場合は、設定内容に誤りがないか確認してください。

作成

ショートカットを指定した場所に作成します。

ショートカットには、設定内容が暗号化されて記録されます。

実行方法

作成されたショートカットは、クライアントパソコンの任意のフォルダに「ファイル配信」などの機能を利用してコピーします。

クライアントにおいてショートカットを実行するだけで、設定されたユーザー権限でアプリケーションを起動します。

注意事項

- ・実行プログラムの設定は、クライアントパソコン上の絶対位置を正確に指定する必要があります。
- ・実行するアプリケーションの中には実行権限を自ら変更する物があり、その場合正常に動作しない事があります。
- ・本機能を利用するには、「Microsoft .NET Framework 2.0」以降がインストールされている必要があります。